

「どうして相沢は豊太郎の帰国をエリスに伝えたのか」

相沢が、わざわざ伝えたということが気になった。豊太郎の意識がないときに伝えたということは、相沢は豊太郎に相当帰国してほしかったのだと思った。だからこのテーマについて考えてみた。

まずは相沢がどのような考えを持ち、エリスに伝えるまでの行動をまとめる。そして豊太郎自身が帰国を伝えられなかったことから、どのような人物であるかを書く。この二つからテーマの結論をつくっていく。

このレポートでの結論は、相沢は自分のために帰国を伝えた。

・ 相沢の行動から

豊太郎には大切な人がいて、帰国に支障があるのではと心配していた大臣に相沢は、そのような人はいないと嘘を報告する。こうして大臣が直接豊太郎に帰国しろと言う。他人に否定できない豊太郎の性格を知っていた相沢の計画どおりだった。豊太郎なほどの学問の持ち主なら役に立つはずと思って、かなり帰国させたかった大臣、そこでうまく帰国させることができたなら評価も良くなるのではという相沢の計画だった。しかし豊太郎が倒れた時、まだエリスと共にいることを知った。このままエリスと離れられずに帰国もできないということを大臣が知ったら、相沢が嘘をついていたことがばれてしまう。相沢は豊太郎の性格を知っているので、本人から帰国を伝えるのは無理だろうと考えた。そこで自らエリスに伝えて大臣には帰国に支障はないと言った。嘘がばれることなく豊太郎を帰国させることができた。

・ 豊太郎の性格から

豊太郎は小さい頃から他人の敷いたレールの上をたどるだけの生き方をしてきた。ひたすら受動的、機械的人物になってしまい、自分の意志で行動するということは滅多になかった。しかしエリスと出会い、一緒に暮らしていこうと新たな生き方を見つけた。それでも相沢と大臣には自分の意志を伝えることができずに従ってしまった。このような心の弱さは友達である相沢は知っていた。豊太郎は帰国することを約束したが、このまま待っていても伝えないだろうと相沢は感じた。そこで自ら伝えないといけないと思いエリスに伝えた。

・ 結論

エリスか出世か迷い、帰国のことを伝えられなかった豊太郎を見て、相沢は自分の出世のために帰国を伝えた。